

## 漢方入門 ④5 逆流性食道炎と漢方



逆流性食道炎とは、胃液や腸液などが食道に逆流して、その消化作用により食道の粘膜に炎症が起こる病気です。粘膜のびらんや潰瘍に対しては、西洋薬による治療が優先で、胃酸の分泌を強力に抑えるプロトンポンプ阻害薬やH<sub>2</sub>ブロッカーを中心に、粘膜の表面を覆って胃酸や消化酵素から守る粘膜保護薬などが用いられます。しかし、ひどくなると西洋薬では治療が難しいことがあり、症状がうまく改善できない場合も多いのです。

漢方薬は症状の改善を目的に様々な薬剤を使い分けます。胸やけや吐き気を抑える茯苓飲(ブクリヨウイン)、胃の運動機能を高める六君子湯(リククンシトウ)、胸やけ、腹痛、食欲不振があれば安中散(アンチュウサン)、胃酸が多い、胸やけ、みぞおちのつかえ感の強い人は半夏瀉心湯(ハンゲシャシントウ)などその人に最適な漢方薬を合わせていきます。胸やけや吐き気があるときは、お湯で溶いて、冷ましてから飲むこともあります。

逆流を防ぐためには、薬の服用だけでなく、「上半身を少し高くして寝る」「暴飲暴食を避ける」「油ものや甘いものを避ける」などの日常生活の注意も大切です。胸やけ、吐き気など逆流症状でお困りの方は、当院にご相談ください。

## 球根を植えて楽しみましょう

来年の春を楽しみに、毎年球根を植えて増やしていますが、上手くいかない年もあります。そこで秋植えの植え付け方法を紹介します。

店頭では早い時期から、色々な種類の球根が、並んでいます。余り早く植えつくと、腐ったり、病虫害にやられます。あわてないで、肌寒くなり地温が低くなってから植えつけましょう。11月に入ってからの方が良いでしょう。



鉢植えの水やりのついては、10月～2月頃までは控えめに、3月～5月頃までは、土の表面が乾いたらたっぷりやりましょう。花が終わり球根を

### 感謝

今年の十一月で、曾山医院に勤務し二年が経ちました。以前も医療事務として、医療機関に勤務していましたが、ここでは業務が分担されていた為私は患者様と接する機会があまりなく、受付・会計業務も一度もした事が



ありませんでした。その為、最初の頃はとまどう事が多く、分からない事ばかりで毎日が勉強の日々でした。また院内で行っている接遇にも参加し、言葉使いや身だしなみについても一から勉強させて頂きました。色々な事を学び勉強する中で悩む事も多く、自分が思っている

以上に大変だなと感じる事もありましたが、周りのスタッフの協力や、患者様の笑顔、「ありがとう」の一言に何度も支えられながらここまでやる事ができました。この二年間で、社会人としても医療事務職としても少しは成長できたかな?と思います。今後も感謝



の気持ちをお忘れず、日々精進できるように努力していきたいと思えます。  
（医療事務 三野 麻記子）

掘り上げる場合は、種を作らないよう、花茎の部分から切ります。

品種によって違いますが、5月下旬～6月初旬に葉が黄色になってきたら球根を掘り上げ消毒、乾燥させて涼しい所で保管すれば毎年球根を利用出来ます。

我が家では、毎年楽しみながら、チューリップ、コリ、水仙、ダリアなどの球根を植えて増やしています。草掃除の時は大変ですが、水や肥料をやりま。花が咲いていると嬉しくなり、花達にありがとうと声かけします。(ホームヘルパー・ケアライバー 藤山 俊子)

